



初代宇部市役所

明治以降石炭産業が活発になり、厚狭郡宇部村の人口は急速に増加、発展していった。これにともない、町制を経ずに一挙に市制が施行された。県内では下関市に次いで二番目の市制施行となる。当

時村から町制を経ず市に直接昇格した例は全国的にも珍しい事であった。初代宇部市長には前村長であった國吉亮之輔が就任した。施行当日は琴崎八幡宮神殿において奉告祭が行われ、続いて

「宇部市民誓文五則」が発表された。新川小学校講堂にて祝賀宴会が催され、市制施行を喜ぶ市民の万歳三唱の聲が響く。市制施行に伴い、新庁舎は翌年寺の前から常盤通りに新築移転した。

内務省告示第二百三三號  
明治四十四年法律第六十八號市制第三條及同年法律第六十九號町制第三條ニ依リ大正十年十一月一日ヨリ山口縣厚狭郡宇部村ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ宇部市ヲ置ク  
大正十年十月二十八日  
内務大臣 床次竹二郎

内務省告示を伝える当時の新聞

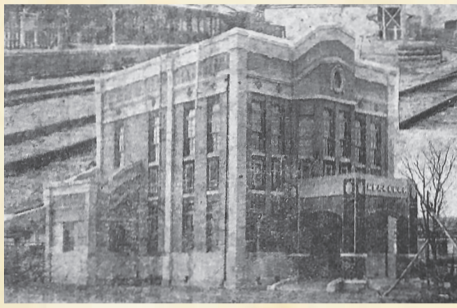


# 宇部市誕生

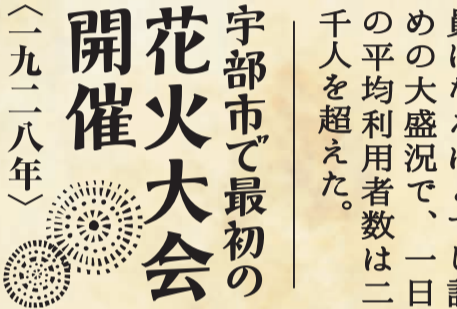
〈一九二一年十一月一日〉  
厚狭郡宇部村が村制から町制を経ずに市制施行

宇部市史  
市制施行

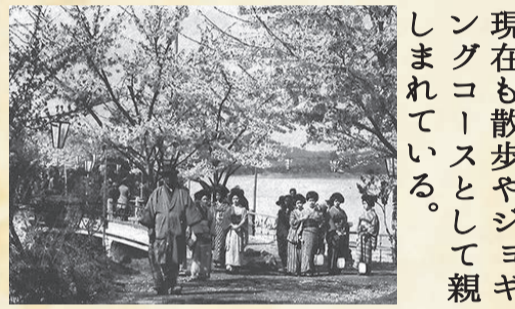
1921  
〈大正10年〉  
1930  
〈昭和5年〉



現JR宇部線  
宇部軽便鉄道全通  
宇部・小郡間  
〈一九二五年〉  
市中に祝賀気分湧く



現JR小野田線  
宇部電気鉄道開通  
宇部・小野田間  
〈一九二九年〉  
当時は発車ごとに満員になるほどすし詰めの大盛況で、一日の平均利用者は二千人を超えた。



# 常盤公園開設

〈一九二五年〉  
渡辺祐策らが常盤湖畔の土地を購入し市に寄贈  
桜が植樹されるなど、景観が評判だった常盤湖畔。常盤湖周辺を市民に一般開放する目的で、宇部共同義会・渡辺祐策らが土地一七七五坪を購入し宇部市に寄贈したことで、常盤公園の開設が実現となる。市民の大きな憩いの場となった常盤公園は当時からも賑いをみせた。現在も散歩やジョギングコースとして親しまれている。

12

日	月	火	水	木	金	土
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

令和3年  
2021年  
1月  
January

2

日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

日	Sun	月	Mon	火	Tue	水	Wed	木	Thu	金	Fri	土	Sat
27		28		29		30		31		1	香 仏滅	2	大安
3	赤口	4	先勝	5	友引	6	先負	7	仏滅	8	大安	9	赤口
10	先勝	11	成人の日 友引	12	先負	13	赤口	14	先勝	15	友引	16	先負
17	仏滅	18	大安	19	赤口	20	先勝	21	友引	22	先負	23	仏滅
24	大安	31	赤口	25	赤口	26	先勝	27	友引	28	先負	29	仏滅
										29	仏滅	30	大安

**KYOWA**  
各種金属精密板金加工  
建築物製作  
LIXIL製品取扱  
有限会社協和工業  
宇部市大字妻崎開作516番地の1  
0836-41-4848

**SEIKEN**  
**成建工業株式会社**  
https://www.seiken-k.com  
TEL(0836)54-3535